

## 小野地区タウンミーティング

平成24年1月13日（金曜）

【市長】 皆様こんばんは、野志でございます。今日は平日の夜でありますのに、またお仕事があった方ももちろんいらっしゃるかと思います、このようにたくさんの方が集まっていたきましてありがとうございます。この小野地区のタウンミーティングの開催にあたりましては、地区の広報委員会の大高会長さんをはじめ、役員の皆様方のご協力をいただいております。本当にありがとうございます。さて、このタウンミーティングでありますけども、松山市内には公民館本館で言いますと41地区あります。よく言うことですが、この41地区が集まって、ひっくり返してもらおうと伊予（いよ）を形成しているわけですね。41地区、よい地区が集まって、ひっくり返して伊予を形成しているわけでありまして。この41地区それぞれの地区が、より輝くとその集合体であります松山市はより輝くと言えます。このタウンミーティングは41地区それぞれに私どもが出向いて、各地区の魅力を聞かせていただく、そして課題をお聞かせいただくことになっております。なぜまず魅力と申し上げたかと言うと、やはり41地区それぞれに歴史があって特徴があると思います。その特徴、魅力をしっかりととらえてまちづくりをすればいい方向になると思うんですけども、その特徴をつかまないと、行政主体でまちづくりをしてしまうと、どこ切っても同じの金太郎あめのようなまちがいくつもできてしまう。その集合体が松山となるととってもつまらないですよ。それぞれの地区の魅力、特徴をとらえていただくことが大事なことでありますので、まず魅力について語っていただく、認識をしていただく、ともに共通認識を持とうと思っております。そして課題についてももちろん聞かせていただきます。このタウンミーティングは、ある意味職員にとってはしんどいことをさせているわけです。市役所の中で座って皆様が来るのを待てるほうが楽ですよ。果たしてそれでいいんだろうかと思いましたが、私が就任させていただいてから始めることにいたしました。各地区にこちらから出向いて行って、皆様のお声を聞かせていただく。この場でお答えできるものは、できるだけこの場でお答えするようにいたしますけども、国と絡むもの、県と絡むもの、また財政的な問題があるものは、この場でお答えできないこともありますので、それは

いったん持ち帰らせていただいて後日必ずお答えをすることにしております。これも、その場で聞いてるふりをする、やりっぱなしにする、聞きっぱなしにすると楽ですよ。それはいけないと思いますので、この松山版タウンミーティングはやりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないということで、この場でお答えできないものは後日必ずお返事をする形にしております。さて、私もできる限りお返事をいたしますけれど、松山市役所の仕事というのはかなり広範囲に及びます。上下水道もやっている、図書館もやっている、競輪場もやっている、坊っちゃんスタジアム、マドンナスタジアムも松山市がやっているものです。広範囲にまたがりますので、今日は部長課長たちを連れてきておりますので自己紹介をさせます。

**【市民部長】** 皆さんこんばんは、市民部長の三好龍彦と申します。このタウンミーティングを統括いたしております。普段の業務といたしましては、窓口サービス、市民課、消費生活センター、パスポートセンター、それからお隣にあります支所、22支所7出張所。こういうところで皆様方の窓口のサービスをさせていただいております。できる限りいいサービスを日ごろから心掛けております。よろしく申し上げます。

**【企画政策課長】** 皆さんこんばんは、総合政策部企画政策課長の犬野と申します。よろしくお願いいいたします。総合政策部では、部局間の調整、それから去年は「しまはく」を開催させていただきました。あとスポーツ振興、国際交流を受け持っております。本日はどうかよろしくお願いいいたします。

**【都市政策課長】** 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。今都市整備部では道路の整備、また公園整備及び管理等を担当しております。どうぞよろしくお願いいいたします。

**【生涯学習政策課長】** 皆さんこんばんは、教育委員会生涯学習政策課長の青木と申します。教育委員会では学校教育あるいは公民館、文化財といった分野を担当しております。どうかよろしくお願いいいたします。

**【保健福祉政策課長】** こんばんは、保健福祉政策課の大濱でございます。保健福祉部では医療あるいは保健福祉全般を担当しております。本日はよろしくお願いいいたします。

**【産業政策課長】** こんばんは、産業経済部産業政策課の中西と申します。どう

ぞよろしくお願いいたします。産業経済部は農業振興、地域経済、雇用の対策、観光振興、競輪事業も産業経済部で持っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【市長】 今日私は私とこの6人です。このタウンミーティングでは皆さんの声をいただいて、これまでに15カ所まわりました、今日が16カ所目ですけれども、さっそく事業化しているものもありますし、新年度、今年4月に向けて事業化の芽出しをしているものもあります。できるだけ皆さんの声を受けて、スピード感のある対応をしていきたいと思っております。最後になりますけれども1時間半あります。皆さん緊張していると、肩ひじ張っていると疲れてしまいますから、1時間半ありますのでどうぞ肩ひじ張らずに、ざっくばらんに皆さんと前向きな話し合いができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 小野地区の広報委員を担当しております。本日は寒い中を市長はじめ部長、担当各課の皆さんのご出席をいただきまして誠にありがとうございました。また、16番目という早い機会にこの小野地区でタウンミーティングをしていただきますことを本当にお礼を申し上げます。さて本日のテーマの一番、小野地区の魅力について、まず一番に葉佐池古墳を挙げられると思います。平成4年に発見されて以来一次調査から平成20年の5次調査まで行われ、6世紀の中頃につくられたということが判明しました。そしていろいろなことが評価され昨年の2月7日に国の史跡へ指定されました。このことは非常に我々の誇りでもあり、小野の歴史がうかがえると思います。次に小野地区は獅子舞の保存、伝承に力を入れております。町内7カ所の神社にはそれぞれ保存会がございます。獅子舞を地方祭で演じることはもとより、地区では子ども獅子舞共演会がございます。大人から子どもまで熱心に保存、伝承に力を入れております。また、女神輿や毎年秋の文化祭で上演されます小野与力一座という村芝居がございます。名物興行となっております。本日は地区全体から、各界各層のリーダーが出席されておられますのでこのほかにもたくさんいろいろなことがございますので、どうか皆さんのお話を聞きくださいませ、小野地区の発展のためにご尽力賜りますようよろしくお願いいたします。

【市長】 そうですね、私の印象で言うと本当に小野は元気なところっていうイメージが強いです。それは先ほど言われたように村芝居があったり女神輿があっ

たり、また24時間テレビのときには長時間ソフトボールをやっていたり、向井分館だったですか、盆踊りに行かせていただいたりして、本当に元気だしつながりがあるのがすごく大事なことだと思うんです。この間、新聞見てましたら、私もそう考えてたんですけども、今、個人とか孤独とか「個、孤」が目立つ世の中になってきたんですね。個人の個、孤独の孤。つながりがものすごくなくなった時代。独居老人の問題とかいろいろ出てきてますよね。それを新聞には「C世代」COって書いてたんですけど、COっていうのはコミュニケーションとかコラボレーションとかコミュニティとかのCO、つながりがある世代に戻していこうと思ってたのをCOっていう形で新聞では表現してなるほどなんて思ったんですけど、大事なそういうつながりのある時代に戻したいと思ってんですけど、それが小野にはあります。村芝居、つながりがあります、盆踊りもつながりがあります、女神輿もつながりがあります。そういうつながりが残ってるところが小野の素晴らしいところだと思います。これはもう継続して残していただきたいと思います。

【女性】 私生活改善のほうからまいりました。市長さんは私の自宅までお出でくれたこともありました、本当に懐かしく思います。テーマに沿って言うなれば昭和55年にここの校区、800人の婦人会がありました。そのときに既に機械づきはやっとなって杵づきが順々廃れていく中、子どもたちに杵づきを味わわせようと文化祭のときに提案しまして、昭和55年から延々とつないでいること本当に感謝しております。本当に先輩の気持ちを小野は受け継ぐところ、先輩をたてるどころ、女の方は本当にその感が強うございまして女性の小野サロンを見て下さい、スタッフが大変多うございます。それはすでにその地盤が先輩からずっとできておることございまして、小野のよさがそこに1つあるのと、この間放映された坂の上の雲、そのときにおもぶりの仕方を東京のNHKからスタッフが来て教えてくれないかっていうことで私のようなお婆がご指導したんですよ。そして非常に喜んでくれましてそれがこの間律さんが松山のおもぶり食べるかなじゃの言うから、あのときに私指導したんよいうなこと、入ってる具材は変わってもいいからいうようなこともお話ししましたし、この小野校区の文化祭を生活改善の者が個数にして2,400個のいなり、皆さんが一生懸命につくられて本当に気持ちよく文化祭を盛り上げているということも1つの小野の魅力ではないかな

と思います。

【市長】 おもぶり指導されたんですか。すごいですね。知らないこと教えてもらいました。ありがとうございます。葉佐池古墳の話が出ましたのでこれからの計画をお話いたします。今年の4月から文化庁の補助を受けて古墳の墳丘、丘の部分の整備が始まります。駐車場や案内する施設を整備する土地の整備工事に入ります。平成25年度、来年の4月からは公園の施設の整備を行いまして、平成26年から一般公開となります。この葉佐池古墳も本当楽しみです。

【男性】 今日はお忙しい中ありがとうございます。私中学校で部活動野球部をお手伝いをさせていただいております。野球が非常に好きなんですけど野球王国四国と言われたのはもう昔の話で、一部の方からもう選抜甲子園は愛媛は自力で出るんは無理ではないかと言われております。そこで、私が現場で考えた問題点として、やはり中学校の部活動のいろいろ問題がある気がしております。まず1点目が、専門外の方が教える機会がある。2点目が、一人で大人数を見なければならぬ状況がある。三番目に学校の先生今いろいろお忙しいですから、練習に参加できない、生徒に任せっぱなしという状況があるということがあります。小学校はスポーツ少年団とかで非常にモチベーション高く練習してるんですけど、中学校に上がるとそういう状況で子どもたちのモチベーションも落ちて、結局それが県外の交流を深めると、中学校の最初はそうでもないんですけど2年、3年になると特に高知とやったら歯が立ちません。その話を聞くとそういうところがあるんじゃないかなと考えております。学校側にだけそれをやれって言っても非常に難しいと思いますので、地域にはスポーツ、野球だけではなくてソフト、陸上、バレーボールを経験ある方が多々いらっしゃると思います。まずそういう人を上手に活用できる、参加しやすい仕組みをつくるという点。それと指導者向けの指導。例えば、異動とかで経験がない方が野球やったりバスケやったりすることは仕方がないと思うんですけども、これからの愛媛国体いろいろハード面とか力入れてるかと思うんですけども、結局現場の教える方のノウハウがなければいくら指定校だけ強くしても裾野は広がりませんので、指導者向けの指導、例えば専門コーチを定期的に学校にまわって、練習方法とかストレッチの方法とか教えれば、地域と行政のノウハウとか活用できれば、もっとスポーツをやろうという子どもたちも増えるんじゃないかという気がしております。小野でもスポーツやる子は

減ってきて危機を感じてますのでご検討いただければと思っております。

【市長】 これは私から、これ本当そうなんです。高校野球、野球王国愛媛って言われますけど、ここ5年くらいで資料出して、やっぱり以前は全国優勝したりとか大体2回くらいは勝つとかだったのに最近はまだ1回戦で負けるとか、春の甲子園にはほとんど出られないとかそんな状況が続いています。中学のスポーツで言うと3つの問題点があると言われるんですけど、1つ目が、スポーツ離れが進んでいます。これは子ども自体の数が減ってきた、指導者も不足してる。経済環境が悪化してきたのもある。保護者の価値観がどちらかと言うと学力重視になってスポーツ離れが進んでいる現状があります。2つ目に専門的なコーチがいない。先程言われたとおり専門的なコーチがいない、そして3つ目の理由として、実戦経験が少なすぎてなかなか成績が残せないという3つの理由があります。この3つにそれぞれ対処をしようと思ってまして、それはなぜかと言うと、私は皆さんご存知のように前の仕事でスポーツの取材を多々やってきまして、スポーツでまちが元気になる事例をかなり見てきてますので、スポーツを楽しんでもらうことが大事だと思ってます。さっき申し上げたスポーツ離れが進んでいることへの対応は、例えばスポーツ少年団、小学生は大体スポーツ少年団に入ります。中学校の部活をやらない期間ができてしまいます、小学校ある程度すると。総合型スポーツクラブに一体化させる方法もあるんですけど、新しい組織と資金が必要になります。2つ目のやり方は小学校の6年生と中学生を合同練習させる。保険はスポーツ少年団でかけるとか。この小学校と中学生が連携して練習できるようになるのが一番手間がかからない方法です。女子野球のチームなんかは監督のご厚意で中学校に入る前の子どもを中学生のチームに預かる例もあるので、工夫したらできるんじゃないかと思ってます。2つ目は専門的なコーチが不在、あまりいないことに対しては、外部のコーチを学校に迎えやすい環境を整えるため、外部のコーチに対する謝金を用意してます。新年度4月からは指導者のための講習会を実施したり、優秀な指導者を表彰するなど、引き続き部活動と指導者を支援していくことを続けていきたい、また強化していきたい。3つ目は、松山市はこれまで全国大会に出て行く子どもたちに遠征費補助してきたんですが、市役所のすることなんで、最初どういう計画ですかとか、ちゃんと領収書出して下さいとか何度も手数をかける形だったんですけど、それをちょっと変えてやりやすくして、新しい補

助制度にリニューアルを4月からしよるところです。そういう形で全国大会にも行きやすくなる。「ちょっとお金が出せんけん全国大会行けんな」とか「行きにくいな」っていうのを解消するために、新しい補助制度をスタートすることにして今リニューアルしているところです。さっき申し上げたようにスポーツでまちが元気になる事例を多々見てますので、そういう形で国体をにらんで、強化していきたいと思ってます。

【男性】 中学校のPTAをさせてもらってます。今市長さんから全国大会等の補助のことも初めて聞いたんですけど、実際PTAで一番頭抱えとるのは子どもたちの部活動の遠征費の捻出です。そういう制度が今後使わせていただけるんやったら非常に楽なんですけど、少子化になってPTA会費もだんだん減ってます。かと言って簡単に上げるわけにもいかない。そんな中で子どもたちはすごく頑張ってます。いろんな部活でも小野中の生徒は成績を残して大会にも出ていくようになってます。しかしこれは学校の活動で、小学校のような形で保護者で運営するわけにもいかない。そんな中で交通の安全等考えたらどうしても公共の交通機関を利用しなければいけない。タクシー代とかバスの借上げとかで、私どもPTAの活動言うても、焼きそば焼いたり、土曜夜市の平井商店街のお手伝いしたり、古紙回収したりそんな活動ばかりです。で、まだ足りない。そんな中で今日はお願いしようと思ってきたことが1つあります。どうしても繰越金食い込んでいく状態で、この先どうなるか分かりません。何か収益を上げたい、そんな中でふと思ったのが、中学校に体育館があってスペースがあるんですが、小野は小学校も中学校もまた大人も運動が盛んで、夜間でも体育館を利用させていただいております。できれば敷地を利用させていただいて、自動販売機を置かせていただければ、PTAの収益としてと思うんですけど、市の土地ですし、学校の教育の現場でもありますので、いろんな障害があると思いますが、多分どこの中学校も頭を抱えている問題です。1つ、人も動かなくてもいい、お願いするにはPTAの会員に出てきてもらって焼きそば焼いてもろたり、古紙回収してもろたりして非常に手をやいてもらわないといけない、非常に申し訳ないんです。けどそういうことで置かしていただけるとある程度の収益も上がりながら、委託できるということで非常に便利なことになる。いろんな障害あると思うんですけど、考えてもらえたらと思います。よろしく願いいたします。

【市長】　そうですね、結構ご存じない方が多いですね、これは。うちのPR不足かもしれません。実は、スポーツで全国大会に行く場合、結構経費がかかります。ですので松山市では、保護者の負担軽減を図るために、今年間300人を超える選手と指導者の遠征費を補助しています。全国大会に行く場合、お金がかかりますから市代表とか中予代表とか選ばれた場合に補助できる制度もありますので、利用していただけたらと思います。また、これは市民の皆さんが言われたことがきっかけになったんですけど、スポーツも移動にはお金がかかりますし、ブラスバンドもものすごくお金がかかるそうです。ブラスバンドで全国大会に選ばれた、自分らで持っていくわけにはいかん、ええ加減に運んだら楽器壊れてしまいますから、楽器の輸送代金が市長ものすごいかかるんで、強い学校って指導者にかなり関わってきますよね。先生って3年くらいは学校においでるんで、続けてその強いブラスバンドがまた来年も行くことになるんですよ。そうすると、今年初めて全国大会行けるようになったんで「寄付をお願いします」とかで近所で寄付もらった。次の年、また全国大会に行けるようになった。「寄付お願いします」って行ったら「去年はろたがね」って話になる。何とも気まずい雰囲気になる、こういう現状があるのを聞いたので、今年度から変えました。ブラスバンドの移動にも補助ができる制度にしました。こういうふうに皆さんから声を上げていただいて変えていく部分、我々もそういう現状があったのかと改めて気づいて変えていける部分はありますので、松山市も厳しい財政ではあるんですけど、どうぞこういうお声は引き続き寄せていただけたらと思います。自動販売機のことについては。

【生涯学習政策課長】　教育委員会です。1つは小中学校に自動販売機を設置するのがどうかということ、PTAの資金の調達ということですが、自動販売機につきましては、松山市内の小中学校については現在設置しておりません。理由は、給食があったり水筒も持参してくださいということもして、やはり児童生徒の健康面とか、生活指導の面、どうしても自動販売機があると、お金を持ってきて買う、そういった生活指導面も含めて青少年の健全育成、そういった視点で自動販売機を置いてない現状です。聞いた話ではアメリカなんかでは、最近はまだ置くのやめたなんかいう話も伺っております。そういった問題もありますので現時点では学校内に自動販売機を置くのは考えておりませんのでご理解いただきたいと



思います。それからP T Aの資金の件ですけど、確かに児童生徒の数が減っておりますので、苦しいというのは小野に限らずどこの小中でも抱えている問題だと思います。この間もP T Aで資金調達をしているところ、うまくやっているところをP T Aの連合会に聞いたんですけど、古紙回収したり、地区内の一般家庭に賛助会費をお願いしたり、校区のチャリティバザーをしたりとかいろんな活動をされているところもあると伺っております。そのあたり大変だとは思いますがいろんな知恵を出していただいて、活動費を捻出する方法を、ほかの校区も含めて情報交換意見交換もしていただければと思っております。

【市長】 ちょっと先にすみません。実は三好市民部長が長いことP T Aの会長をしていい例があったみたいなんでちょっと。

【市民部長】 参考になるかわかりませんが、私が会長のときにバスケット全国大会、決勝まで行きました。そのときにかかったお金は交通費、宿泊費の半額補助で100万超えました。そのときに、子どもたちは地域の子もだから地域の方にも応援していただこう、血気盛んな子どもたちが体育で汗を流すということは礼儀正しくなるし悪さはしなくなるということで、賛助会費ということで1口500円で、各地域に回覧まわしました。総体の結果とか残して全国大会準優勝とかいったときに集まったお金が100万円です。2年目、120万円いきました。ずっとそれが増えとったんですけど小学校が真似してやりましたんで100万円くらいに落ちましたが、そういう形で地域で全体として子育てしましょうという呼びかけによって余土という地域で100万円が毎年入ってきましたので1つの参考にされたらどうでしょう。各家庭教育部とか学校教育部とかいう部会員さんが、地域を小さくして一軒一軒まわって町内会長なんかと人間関係つくってやると気持ちよく出してくれる人もおりますし、10口くらい出してくれる人もおりますので、自分たちの成果を地域に示しながらお願いしますといったとき、それが1つの参考になればと思います。

【男性】 元中学校の教員です。小野中にも長い間おったんですけど、今のお話の中で小野地区の一番の魅力は人と人とのつながり、隣近所みんなが仲よく知り合っているというのを思っております。そんなときに先ほどのお話にあったP T Aの活動、設置をしておいたらただで儲ける、これでは人と人とのつながりはできない。やっぱり一緒に汗を流さんと人と人とのつながりがで

きないと思っております。やっぱり汗を流して儲ける、この地域もスポーツ振興のお金も集めたりもしよると思うんですけど、私が最後勤めた中学校の場合には後援会があって、地域から相当の額をいただきます。先ほど部長が言われた額をはるかに上回る額をいただきます。そんなんが小野もあれば中学校もそうしんどいことはないかな、それは現PTAの人たちががんばらんといかんし、また地域も分館長はじめいろいろと動けば小野だったらすぐに集まるかなということも思ったりしよります。やっぱり人と人とのつながりでいろんな事柄を進めていかんと将来がちょっと危ういかなと思います。

【市長】 私から1つ言わしていただくと、本当に小野の方は先ほど申し上げた村芝居も女神輿も24時間のソフトも、動かんほうが人間楽ですよ。手をこう前に動かせばわかるように、手を動かしたら風を感じますよね、動いたら絶対何か反発とかあるんですよ。動かないほうが楽やけど、動いてくれてっていうのは非常にありがたいと思っております。今部長の話もありましたけれど、いい形で皆さんが地域で子どもを育てるという気持ちを、形になればと思っておりますので応援しております。

【男性】 小野地区の小野交番連絡協議会の役員をしております。今私たちの小野では緊急時の連絡体制、防災防犯のきちとした形がなかなかございません。先輩方がいろいろ考えた連絡網があるのはあるんですけども、うまく動いていないのが現実です。松山市の中でどこか成功例がありましたら教えていただきたいです。

【市民部長】 防犯面から、例えば事故があったときに防犯協会からFネット各学校に連絡するシステムがございます。それによって例えば松山市のホームページにアップするとか、青少年育成のネットもございます、登録した電話に問題起こったときに発信するシステムもございます、これ教育委員会で所管しております。今言った防犯協会は市民参画まちづくり課でやっています。こういった形で皆様にいち早く、まず学校には連絡をします、それから一般の方にはそういった形で連絡をする。それから自動販売機に不審者情報もありますし、かなりネットワークでやっておりますので注意して見ていただけたらと思います。逐次自分のまわりの学校の状況を見るには、青少年育成市民会議でやっております登録制度で情報もいただけるようになっております。一般的な防災につきましては、防災

行政無線で各分館とかポンプ蔵置所で放送したり、巡回車で各地区ごとにやる場合もありますし、全体的に放送する方法もございます。あと地区によっては分館放送で知らせることもありますので、普段から皆様方、防犯、防災、治安とかいったことを場合に分けて、こういったときにどうするのかなど、よく今自主防災なんかでやっておられますけども、普段から話し合うシステムで約束事を決めておられると、情報が早く広まると思いますので参考にさせていただいたらと思います。

【生涯学習政策課長】 青少年育成市民会議で、MACシステムに登録していただいております。今現在、例えば不審者情報の関係で言いますと、小中のPTAの方36,785人、地域の方も3,000人近く、あと子育ての情報など含めまして44,000の方に登録していただいて、何かあるときに不審者情報なり情報をお送りすることになっております。

【男性】 松山市のスポーツを推進しております。どうぞよろしくお願いたします。話し聞きよったらお金のいることは難しい感じは受けたんですが、先ほどスポーツが盛んと言われましたが小野地区はスポーツの施設は学校の施設だけです。小中のグラウンド、体育館を社会体育としてももういっぱい使って使わせてもらってる状況です。数年前に平井保育園が建て直さないかんときにそれも含めてグラウンドもつくる、体育館も立派なものではないけれどちょっとしたスポーツも施設ができたらいいなというお話を聞きまして、市役所用事があるときには係の方に「どんなものですかね、できんのならそりゃ話しても無理やけど」という話をしよったんですが、「もしかしたらできるかもしれませんね」というお話があったんで、話は立ち切れになってしまって、現在はそういうときは1つも出てませんが、多分これ松山市としては財政が厳しいというお話をされましたんで無理かもしれませんが、将来的に小野に学校以外に地域の方が自由に使えるグラウンドとか体育館整備していただければ非常にいいと思いますけどよろしくお願いたします。

【市長】 はい、やっぱり小野はスポーツの話題が多いですね。これまで16カ所行きましたけど一番スポーツ関連の質問が多いと思います。私もさっきの愛媛県勢の成績が落ちてきているのも聞いておりますし、もうちょっとスポーツできたらという皆さんの声を聞いておりますので市民部長にかなり厳しく、言われて

いる本人が。

【市民部長】 ここで財政厳しいというとは何も解決ができませんので、市長からお金を使うだけではなくて既存の財産を使える形はどうかということで、通常の学校の体育だったら学校の中でできますし、普通のスポーツだったら夜間開放で使えるんですけど、例えば野球をやりたいとか、リトルリーグの場所がないとかいう問題ございます。一番簡単なのは広いところを買ったらいいんですけどそれもできない事情がございますので、今、市長の命でそういう場所があれば使えないかということで市内各カ所にあたっております。そうした中で例えば既存のグラウンドがあってネットをかさ上げできればできるんじゃないかとか仕分けをしております、できるだけお金をかけないで、住民の希望に答えられるものがないかということで、今一生懸命やっております。足らざるところは知恵で補ってまいりますので、もうしばらくお待ちいただいたら形が見えてくると思いますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 石井のタウンミーティングで出たんですけども石井に県のグラウンドがあるそうで「あれ使わせてくれんのかな」と、結論は使えたんですよ。皆さんが使えんのかなんかというイメージ持たれたんですけど使える。小野地区だと自衛隊の敷地、あそこも訓練に支障がない範囲で使えるいうところもあります。キャッチボールのできる公園っていうの広げてきました。平成18年から最初は平井公園だったんですね。北条の河野別府公園、20年度が中野公園、21年度が久万の台緑地、22年度の堀江中央公園、23年度は地元との協議がまとまらなかったんでできない。代わりに福音公園は今協議中でストラックアウトとバスケットボールのフリースローのできる公園整備をしているところです。これは大事だと思ってますので引き続きやっていきたいと思ってます。行政というのはいろんな人の声を集約しないといけないので、子どもたちに野球させてあげたいけども、公園の周りの方からは打ったボールとか蹴ったボールとかが民家の窓ガラスを割っちゃうとか、中で遊びよる子に当たってしまう例もあってなかなかという部分があったんです。それだけでもいかんということで知恵と工夫を凝らしながらやってるところです。これはできる限り広げていきたいと思っております。グラウンドのことはかなり熱入れてやってるんで、もうちょっとしたらいい結果が出ると思ってます。

【男性】 小学校のPTAやらせていただいています。何点か。先程のグラウンドの件ですが、正直中学校もグラウンドが狭くなって陸上部がなくなってる現状です。やりたいけどやれないところも出てきているのでせっかく小野はスポーツが本当に盛んなのにもったいないところがあります。先程のPTAの活動ですが、もうかなり実はやってるんです。プラスアルファで試行錯誤というところでお金集めるやつもやっております。そこら辺はまた小学校も中学校も協力してやりたいと思います。先ほどの安心安全のMACシステムの件ですが、小学校もほとんど加入してますし、中学校も加入はしてるんですが、MACシステムの送ってくるのが3日、4日、1週間後なんです。そこに問題があるということなんです。今やってる部分はわかっています。今交番のほうでの話し合いで出てるのは、実際に何か起きた場合に直接タイムリーで来ない。この間おまわりさんも来ていただいて現実の話をお聞かせされました。するとなかなか情報は渡しにくいと。不審者が現れた、強盗があったときにすぐ来ないんです。ということはせっかくシステムがあっても宝の持ち腐れになってる現状です。正直言いましてそうです。何日前に不審者が現れました、気を付けて下さいってというのはよく来ます。もうここにおられるほとんどの方、多分小学校中学校の父兄はMACシステムに登録されてだから逆に見ないですね。「またか」みたいなのところがありますので、その辺は松山市だけではなくて警察との連絡にもなると思うんですが、よりタイムリーな対応をするためには、市が動いてくれないと警察は動かないのが現実ですね。これとは別になりますが、平井保育園で以前に関わってた子どもさんの生活保護とかそういう部分のところにおいても、なかなかタイムリーな動きができていない。小野はそういうタイムリーな動きはできるはずですが、まったがかかるのが現状じゃないかなと思います。多分ここにおられる方もいろいろ感じられてることあるんじゃないかと思います。ですからせっかく今日はタウンミーティングなので、私も市のほうにも関わってますのでやってることはわかっています。実際に地域では動きたくても動けない状態にあることを知っていただいて、具体的などころ、例えば信号機のことなんかもそうです。小野は道がどんどんできるようになりましたから逆に車のスピードが速くなりましたので、信号機の設置も伝えてます。これもお金のかかる難しい問題で、別の対策として表示とかもっとしなくてはいけないんですが、止まってしまうところがあるのが現状っていうのがあります。高

齢者も増えてきてますし、逆に新しい人も増えてきてます。小野は昔からわたしが小学校のときからあまりクラスの変動がないんです。全体的には減っていますが小野はある程度人数がいるところなのでやっぱり共存していくためにこれからしていきたいと思っております。

【市長】 これいい意見いただきましたね。これがタウンミーティングのいいところ。通り一遍のことじゃおもしろくない。こういう突っ込んだ意見言っただけのほうがいいです。さあどうしましょう。これやっぱり3日かかるのは、確かにそうですね。もらうほうからしたらもっとタイムリーに欲しいっていうのはありますよね。

【生涯学習政策課長】 不審者情報とか情報が遅い、タイムリーでないのご指摘もありましたので持って帰らせていただいて警察との連携を。

【市長】 警察出しにくいんですかね

【市民部長】 MACシステムについては持ち帰りなんですけど、数年前に連れ去り事件とかあったときに教育委員会と市民部で協議して、子どもたちの下校の見守り活動とか青色防犯パトロールとかやったんですけど、真っ先にやったのが不審者情報。松山市のホームページの左側で不審者情報貼ってるんですけど、最初すぐ情報出せと言ったときに警察から「相手方が特定できない捜査中だから」、こういう意見があったんですけど「危ないやろ」ってまずFネットで学校に事件起こったときすぐに送る。で、情報整理したものを今3日かかっていますが、もう少し早い時間に貼り付けて市の職員が上手くやとります。ただ事件が起こったとき皆さん見てくれるんですけど、ちょっと落ち着いてくるとなかなか見してくれない、それはまた行政の責任なんですね。行政もしょっちゅうこういうのあるって連絡いったらいいんだけど、こういう意見がないとそのままの形にしていますので今の意見、「こういう情報はこういうふうに見て下さい」ということを改めて広報ということを職員にも指示していきたいと思えます。我々の宣伝不足はあると思えますのでそのことも踏まえまして対応させていただきます。

【市長】 警察の方と話されたそうなんですけど、出しにくい理由は言っていましたか、警察の方は。

【男性】 今部長がおっしゃったとおりです。結局、特定できない部分ではすぐ出せないというのがありました。ただ、この間はでもやっぱり下さいと。例えば

市に行ってまわってきよったら遅いので、そういう場合は地域の学校に来て、学校から各PTAの事務局がMACシステム流すことができますので、そこで流したい。だからそれがオーケーかどうかになってくるんです。その辺ができれば、スムーズに行けるはずですが、そこもちょっと待って下さいみたいなところがあったので、その辺のところは難しいみたいなので、はい。

【市民部長】　じゃあ今のを、そっくり持ち帰らせていただきましてできるだけ早く回答させていただきます。MACシステムじゃなくてFネットがありますね、各学校で。それをすぐにMACシステムに登載できるようなシステムを考えて下さいという理解でよろしいですね。早速検討させていただきます。

【男性】　広報委員をやっています。年に何回か広報委員会で防犯の一環として巡回しております。その中で最近思ったことですが、小野地区は山に面したところで、産業廃棄物などをいっぺんに捨ててるのではなくて、ところどころ個別で捨てていたりとか、テレビとかを草むらとか目に届かないところに捨てているあれが割と最近よく見るんです。それを松山市としては、どういう対策やっているのかをお聞きしたいです。

【市長】　去年テレビがデジタル化になりましたのでアナログテレビの不法投棄が多いんです。かなり対策をやってましてこの4年で言いますと、粗大ごみエアコンは12台が4台、冷蔵庫冷凍庫は91台が45台、洗濯機とか乾燥機が72台が28台。だいぶ減ってきてたんですけどブラウン管テレビは平成20年227に比べて今409。とにかくテレビの不法投棄が多い現状があります。

【市民部長】　不法投棄につきまして家庭4品目。エアコン、テレビ、冷蔵庫冷凍庫、洗濯機と乾燥機。これで非常に不法投棄が増える。それから山間部とか海に面したところに捨てられる。テレビカメラも設置して随分やるんですけど、その間をどんどんやってる。こういうことをやりますと、5年以下の懲役と1千万円以下の罰金。企業の場合は3億円とかになりますけれど、廃棄物対策課の職員がいろんなところまわってるんですけど、いちごっこという現状が続いております。このあたり我々が待ってるのは情報提供です。市の中も、今警察と連携して常習者を摘発する動きやっとなんですけどできるだけそういう情報を市に寄せていただきましたら減っていくんじゃないかと考えております。それから見つけたときには、速やかに連絡いただきましたら、捨てて間がなかったら犯人のあと

を追えることがございますので、もし見かけましたら速やかに情報提供していただくことが一番かと思っております。そのほか心配ございましたらいつでも環境部で受けさせていただきますので連絡いただいたらと思います。

【市長】 市役所の職員ですから皆さん9時5時ってイメージ強いかもしれませんがんけども夜間パトロールやってるんですよ。ですけどあんだけ増えてますのでできるだけ早く解決したい。ちょっとでも少なくと思っておりますので情報提供いただけたらと思います。

【男性】 分館長をさせていただきます。今まで小野地区全体的話だったんですが、地域限定の話で申し訳ないんですけど小野谷公園の件ですが、小野谷公園は駄馬分館と小野谷分館、大体戸数が100戸近く、小学生中学生あわせて9名。過疎を超えて限界集落という状況です。小野谷公園は県道196号線に沿って小野川が南流をして西側に小野谷公園ございます。ところがそのあたりの小野川は今のよう近代的な護岸工事は全くありませんので、竹林とか雑木林が護岸の役割を果たしておりまして、196号線からは小野谷公園が全く見えない状況で、園児や児童の遊び場っていうことは全くありません。何が起ってもわからない状況で公園としては開店休業。もっぱら市民清掃とかそういうときに奉仕作業の場所という現状でございます。そういうことで196号線からの視界をよくしていただけたらと。我々住民も考えたんですが、雑木林の場合は切れば2、3年持つんですけど、竹林の場合は翌年になったらタケノコが生えますので1年で元の状態にかえってしまう。それから小野谷公園の西側に市道があるんですが市道からは小野谷公園の場所が低いもんですから稲が成長したり麦が成長しますとほとんどが見えないということです。それともう1点は防災マップにここが載ってあるということは一時避難場所になってます。防災マップではその小野谷公園、196号線から橋が付いておって小野谷公園に行く状態になってますが、この橋は沈下橋で雨が降って流量が多くなりますとこの公園には行けない。いわゆる一時避難場所としては機能しないことも考えられます。私としては196号線から小野谷公園に新たに橋をつくっていただいて、もちろんこの橋は何千万という立派な橋でもなくて結構ですので、児童生徒あるいは地域住民が避難するための往来ができるものをしていただけたらと思います。そういう地域限定の要望ですが、現状を見ていただいてよろしく取り計らいをお願いしたいと思います。



【市長】 地域限定なんて言わずにどんどん言って下さい。逆にそこまで目が届いてないことがあるかも知れませんが遠慮なく言って下さい。小野谷は確か小野小町ゆかりのお寺があるところで、確か森貞姓が大変多いところじゃなかったですかね。すごく印象深く覚えてます。これはどうですかね。

【都市政策課長】 都市整備部です。小野谷公園につきまして今利用されていない開店休業の状態、また、それにも関わらず一時避難場所としての指定があるということです。再度私ども現場へまいりまして状況を把握して、また橋の件もあわせてご相談させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

【市長】 これ必ずやります。見に行きます。新しいことをまたお話しします。はい。どうぞ遠慮なく。

【男性】 太尺寺に実家があつて今は違うところに住んどんですけど2年後くらいに戻りたいと思つております。また地域限定型になつてしまつて申し訳ないです。ちょっと夢のような話。太尺寺は、池がかなりあります。私が幼いころは魚がいろんな種類おりまして、水を引いたときに子どもがいっぱい集まりまして生の魚と触れ合つてもものすごい夢がありました。夢みたいな話をします。数もかなりありますのであの地区の池の活性化、それを利用した夢の話を意見として伝えたいと思ひます。

【市長】 例へば池干しして魚を取つたりとかですかね。

【都市政策課長】 私も以前農林土木課にもおりましたからかなり小野地区にはまいつております。確かに小野地区が一番ため池は多いと思ひます。ほとんどが多分改修されていると思ひます。その中で池の活性化、利用とかいう形の親水的な役割もありますので今後また皆さんとともに考えながらやっていきたいと思ひます。

【市長】 あれ確か小野地区で池を活かした公園を今整備中じゃなかったですかね。水泥のほう。もし市民の方が池干しをして魚を捕まえるようなことをしたいと思つたら土地改良区ですか。地元の土地改良区。

【男性】 水泥町の区長をやつております。池干しの話が出てまいりましたけれど私ども10月23日お祭りのあと、池干しをさせていただきました。全部でいった費用が3万円くらいだったかな。改良区からお誘ひがございまして、町としても乗つて、子どもたちを遊ばせてやろうとやらさせていただきました。誰一人事

故もなく、無事終わりましたので大変感動したことを覚えております。改良区の方がお話を持ってきていただいて町が乗って7回程度会議をやりまして実施しましたが、防災と組み合わせて、炊き出しをやるうということであわせて実施しました。ということで食料は皆さんがご寄付をいただくとか、婦人会の方に炊き出しをいただくとかで、県、松山市のご指導いただきながら、楽しい池干しができましたので、ほかの地区もぜひ改良区と協力してやっていただければと思います。それから先ほど泉の話、水泥町に小野公園がございます。そちらが水が湧いております親水公園になっていると思います。毎週皆さんが交代で掃除をしております。最初小野地区の魅力のところでおしゃべりすればよかったのかも知れませんがご紹介をしておきます。

【市長】 ありがとうございます。今、池干しの例、お金もあんまりかからなかったようで防災とあわせて炊き出しと一緒にやってこれは本当にいい例だと思うんで、子どもたちは本当にいい思い出になると思いますんでいい例だと思います。できたら広げていただいたらと思います。もしあれでしたら市のほうにも相談していただいたらいい形に落としこんでいけると思いますんでご相談いただいたらと思います。ありがとうございます、教えていただいて。

【女性】 小野小学校でPTAの仕事をしております。私のまわり小学校のお母様方がたくさんいらっしゃって子育てのことをよくお話してるんですが、皆さん子どもにたくさん本を読ませたいって方たくさんいらっしゃるんですが、小野地区から市の図書館すごく利用しづらいということで、東温市とか砥部町にまで図書館を利用して本を借りてくる方がたくさんいらっしゃいます。私も15年前に松山市に引っ越しまして一番感じたのは図書館、子どものために本を借りたいときにすごく利用しづらいって感じました。以前住んでいた徳島県ですが、郊外型の駐車場を広くとった図書館がありまして、子どもの本コーナーはじゅうたんを敷いて子どもが寝そべってリラックスして本を読める環境がありました。とても子どもも喜んで、ちょっと贅沢かもしれないですが、常に新しい本も入って子どもというのは本当に古い本には見向きもしなくなってしまうので、図書館に限らず学校のほうも図書にお金かけていただければと思います。

【生涯学習政策課長】 図書館ですけど、今、中央図書館と三津浜図書館、北条図書館、中島図書館4つあるんですけど、こちらの東南部にはございません。な

かなか新しく図書館を建設するのが、厳しい財政状況の中では難しいとは考えてるんですが、ただ1つ移動図書館が市内の150カ所を巡回していろんな本のサービス行っております。こちらの小野地区にも9カ所ほどサービスも行っておりますのでご利用いただければと思います。貸し出しとか返却だけでなく予約も可能になっております。あと公民館にも図書室がございます、小野の場合は週1回土曜日と聞いてるんですが、そちらもご利用いただけるかと思います。あと学校の関係につきましては、21年度から5カ年計画で学習指導要領の改訂に伴いまして、図書の充実を進めたいということで現在行っております。新しく図書館を建てるのは経費がかかるものですから、既存の分を有効に活用させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 私から追加で。公民館の図書、前の年度の借り上げ実績に応じて予算配分してるそうです。たくさん借りてくれるところには予算が行くって仕組みになってますのでできるだけ利用してもらったほうがいいと。公民館の本の注文、以前は1年間に1回だったんだそうです。今は毎月注文できるように変わってるんだそうです、公民館の図書もまた利用をしていただいたらと思います。厳しい財政っていうのが何回か出ましたので、私から説明をさせていただくと、松山の場合はたちまち夕張のように立ち行かなくなるとまでは思わないで下さい。厳しい財政ですけれども中四国の中では二番目にいいと言われていています。一番どこかって言うと徳島県の阿南市。青色発光ダイオードの会社がありまして法人税収入もありまして都市の規模がそんなに大きくない割に潤ってるってことです。松山二番目によいって言われてるんですけど、よくお話をするのが皆さん円グラフを思い浮かべて下さい。松山市が1年間に出て行くお金、歳出と言います。1年間に出て行くお金のうち一番多くの割合40%を占めるのが民生費、いわゆる福祉にかかるお金が40%を占めています。1年間で50億増えます。そのうちの生活保護費がおよそ20億円増えたんです。皆さんも学校で習われて覚えてると思いますけど国から地方交付税交付金とか国庫支出金っていう形で地方にお金がまわってくる。でも皆さんご存知のように国は今1千兆円の借金を持ってる。ほんなら国はできるだけ地方に渡したくないと思いますよね。ですからこれから地方の財政が膨らむのは考えにくい。だから、生活保護費が20億円増えたら20億円どっかで削ることを考えないと、どんどん財政は下り坂になってしまう。そういう今

の地方財政の状況なんです。ですから私も皆さんが言われることいいなって思います。郊外型の駐車場のあるじゅうたん敷いた図書館あったらいいなと思います。で、これを「やりましょう、タウンミーティングで出たからやりましょう」って言ったら、僕はすごく楽です。でもこれをやっちゃうとそのとき市長は楽かも知れんけど、これはまさしく将来の子どもや孫につけを残すことにほかならない、つけを送ってるだけになっちゃう。自分の生まれ育った松山。やっぱり命のリレーだと特に去年東日本大震災があって感じました。命がある間にやらないかんことがある、将来の子どもや孫につけを残したらいかん。だから松山の財政を悪い状態にして渡すわけにはいかないと思ってます。だからと言って何もしないわけじゃありません。職員たちにも言ってるんですけど「選択と集中だ、知恵と工夫だ」「お金かけんかったとしてもできることはあるんやないんか」「お金の融通でできることがあるんやないんか」ということを常々考えて「知恵と工夫や、選択と集中や」「汗を流そう、アイデアを絞ろう」言ってるんですけど、そういう地方財政の状況があります。でも、皆さんにここで言いたいのは、こういう話をタウンミーティングですると皆さんが遠慮して言わなくなるんです。でもそれは違う。皆さんは声を上げていただかないとわからないことが、やっぱりあるんです。今日のタウンミーティングでも、皆さんから声を上げていただいて気付きを与えていただいたので、やっぱりこうやって声を上げていただくことが大事ですので、これからも言い続けていただきたいと思います。僕も郊外型の図書館いいと思うんですけどたちまちできる状況にはない。でもこれいい試みだと思いますので頭の中には留めていたいと思います。

【男性】 今後30年以内に南海、東南海地震が起こる確率約60パーセント程度という状況にあって、松山市におきましては41地区に約900人弱の防災士を配置育成され本当に素晴らしいと共感しております。この小野地区におきましても防災組織連合会を立ち上げており、17分館15名の防災士が配置され、頑張っているところです。しかし、年間約4回の会合がございます。それに対する助成金を出していただくことはできんだろうかという内容ですが、多くは望みません。一人に対して年間千円もあれば十分だと思うんです。その内容は文書案内、切手代、ハガキ代、あるいはお茶代こういったもの。確かに私も各分館から1分館1万円いただいておりますが、1つの分館で1名の防災士、あるいは5名の防

災士。こういったものがありまして公平さに欠けている状況にあります。これらも今後対応していかなきゃいけないんですが、ぜひ防災士会に対しての助成お願いできないでしょうか。もう1点、防災機器の配置を各地区にやっていただいておりますが、この機器の配置状況見ますと海岸も山の手も街中も同じ内容の機材器具が配置されてるんです。この小野地区は山間部、あるいは小野川または池の氾濫がございます。同じ内容の機材じゃなくてそれに対応される機材の配置を考えていただくことはできないでしょうか。この2点でございます。ぜひお願いしたいと思います。

【市長】 はい、わかりました。消防団の装備については、東日本大震災がありましたので装備を充実するように今、国と交渉をしております。せっかく頑張っ  
て活動して下さってる皆さんですので、消防団に対しては例えば沿岸部にはライフジャケットを装備できるようにとか、トランシーバーをもっと装備して、情報がもっと早く行くように、そういうところで今動いているところです。国と折衝しながら、今、前向きに進めているところです。防災士の支援については、市民部長から。

【市民部長】 まず防災士につきましては、現在小野地区には17自主防災組織が活動されてることに  
対して本当に心から敬意を表します。今現在、松山市には公費と私費の防災士1,147名、日本一多くあります。災害の起こった場合に最前線に立って助けようという尊い方がおられます。その中で防災に関わっとる人に対して公費を出したらどうかということですけど、今日は消防の担当おりませんので、今言われたことは早速伝えて検討させます。一般的な話として申しますと、町連なんかで町内会費をそれぞれの活動に分配しておる。例えばまちづくり協議会があるところだったらまちづくり計画の中に活動計画をつくった場合、その活動計画に対して包括的に活動支援金を人数とか規模に応じて出すようになります。その中でまちづくり協議会が分配していく仕組みがありますので、そういう形になれば公費を投入して有効に活かしていく方法があると思います。また個別に相談いただきましたらいろいろ知恵も提供させていただきますのでよろしく  
お願いします。助成金の話につきましては早速持ち帰りまして防災担当に伝えさせていただきます。

【男性】 分館長をしております。さっきの防災と関係あること、またお金の要

ることで恐縮ですけど、実は分館の補強工事のことですが、小野も21分館で20ほどの集会所があります。ほとんどの補強工事はしてないと思います。もし南海地震等6ぐらいの震度の地震が起こればもうこの小野地区の分館の集会所が建つてるとほとんどないんじゃないかと思います。避難地として公民館とか中学校小学校がありますが、各分館におきましても公園とか広場を充てております。その中で集会所が避難場所として利用できれば負傷した人を収容できるんじゃないかと思いますが、今の補強していない状態ではそれも難しいと思います。それより先にもう1つ、各分館の耐震チェックは考えてもらっていないのでしょうか。私も分館長しておりますが自分のとこの集会所がどれぐらい地震に耐えられるかわかりません。お金の要ることなんですけど、そういうことも含めて少しずつでもいいですから各分館の古いところの耐震補強をしていただければと思うんですが、よろしく願いいたします。

【生涯学習政策課長】 耐震補強ですが、今、小中学校耐震化工事を進めております。避難所ですから体育館すべて耐震化工事完了してるんですが、校舎がこれからまだ10年ほどかかるということなんですけど、公民館は、本館につきましては41公民館耐震診断しまして、8カ所についてまだ耐震が十分じゃない、耐震性能満たしてないということで、今年度東雲公民館を皮切りに平成28年度までかけて耐震化を進めるようになってます。確かに分館330ほどございます。これをどうするかというのは当然考えていかないといけないことなんですけど、避難所として指定されている分館が小野の場合3つございます。そのあたりも含めながら本館の耐震化工事が終わるころに、改めて分館について今後どうしていくかを地元と協議をさせていただきたいと思います。時間がかかって大変申し訳ないんですけど、避難所なり、小中学校あるいは本館の工事が優先的になってしまうことをご理解いただきたいと思います。

【男性】 耐震チェックはどんなですか。

【生涯学習政策課長】 耐震チェックも、ある程度まとまってしないといけないので、本館が耐震化が終了するころに、改めて建築指導なりと協議させていただいて。すべて経費を地元で負担するんであればもちろん可能なんですけど、それも大変でしょうから、そこら辺をもう少し時間をいただきたいと思います。

【男性】 できればちょっとでも早く。

【市長】 私から、耐震化については小野の公民館は耐震チェックできております。耐震性能満たしてますので小野公民館については安心をして下さい。今、耐震化、限られた予算の中で何を先にするかって言ったら小中学校の耐震化。子どもたち、地域の宝が長いこと過ごす場所ですから小中学校の耐震化を前倒しで進めているところです。公民館の耐震化を進めます。そして消防団のポンプ蔵置所、消防団が出動しようとしても崩れて出れんかったいけませんので消防団のポンプ蔵置所も前倒しで進めています。まずはこのあたりから進めて、できるだけ利用者の多いところから進めていきたいと思っております。

【男性】 市に対するご質問じゃございません、今日来られてる皆さんに公民館からお願いしたいんですが、小野公民館は昭和21年、今年で66年目を迎えております大変古い公民館です。昭和36年には松山市との合併、それ以降公民館は地域住民の集会室あるいは生活の改善センター、多目的な学習施設、社会教育関係団体の活動拠点ということで活動してまいりました。しかし、この最近は急激に社会環境も変化しており、ものの考え方、また価値観の違いも大きく、よく言われます地域コミュニティの崩壊、地域コミュニティを維持することが徐々に難しくなっております。それとまた更には隣保協同の精神と言いますか、向こう三軒両隣、これは機能しているかどうかそういった問題も考えなくてはいけない事態になっております。そういったことでこの公民館が住民の皆さんの要求、あるいは地域社会の要求に応じた学習活動の支援ができているか、また地域いわゆる分館との積極的な関わり合いができておるか、そして今言いました向こう三軒両隣が健全に機能しているか、それと青少年健全育成が図れているか、この4点を重点的に皆さん方と話し合いながらやっとするつもりでございますけれど、そういったことに対して今日来ている皆さん方からご質問なり要望などありましたらできる限りやっていく所存でございます。その点につきまして市のご協力をお願いしたいと思っております。公民館のことは以上ですが、さっきから出ましたジュニア育成、スポーツ振興の関係ですが、ジュニア育成資金制度が小野にも公民館中心にしてありますけれど、なかなかこれ逆に資金が集まりにくいんです。大体毎年50万程度集まってきましたでしょうか。この資金は特に小野小学校、中学校のスポーツ、文化の関係で全国大会に参加する旅費を中心として支援しております。おととしまでは一万円、一人充当してましたけれど、去年から資金が足りな

くて五千円に下げてくださいるんですけど、この場を借りましてまた寄付のお願いをいたしますので、ジュニア育成制度があるということを知っておいていただきたいと思っております。それとふるさと小野の魅力を探そうということで、今現在小野のふるさとマップを作成中です。昔からいる方はふるさとの再発見、また、新しく来られた方はふるさと小野の新発見ということも目的に今現在製作中でございます。3月末かそこらには全小野の方々には配布できると思っております。これも葉佐池古墳クラブの方々ともタイアップしながらやっておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。以上でございます。

【市長】 すみません、皆さん今日は長時間でしたのにありがとうございます。予定の時間を10分近く過ぎておましてご予約のあった方申し訳ありません。今日、本当よかったと思いましたが、突っ込んだ意見いただけたのがよかったと思っています。やっぱり通り一遍のことをしに来とるんじゃない。聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない、本気なんです。本気で皆さんの声を市政に反映したいと、このように各地区に来させていただいております。いただいた意見は、必ず返答をさせていただきます。国と絡む、県と絡むものについては国に、県に問い合わせる、それから答えが返ってくる。こちらでこういう方向に進もうっていう形になるので1カ月くらいかかるんですけど、必ずお返事をいたします。またその意見を見て、意見を交わしていけたらと思います。また今日「実は言いたかったけどちょっと言えんかという方もいらっしゃると思いますので、そういう方、市長へのわくわくメールという制度もありますので、ハガキでもいただくことができますので、そちらも利用していただいてどんどんご意見をいただいたらと思います。長時間になりましたが、本当に今日はありがとうございます。

— 了 —